尼崎市子どものための権利擁護委員会 発行

あまっこライツ通信

創刊号
2024年あき

皆さんは、自分の話を聞いてもらえなくて悲しくなったり、毎日暴言を言われ辛くなったり、周りの大人から暴力や体罰を受けて悩んだりしたことはありませんか？そんな時、あなたならどうしますか？

自分で「いや」「やめて」と言えればいいけれど、多くの皆さんが我慢しているのかもしれません。

私たち「子どものための権利擁護委員会」は、子どもの意見表明権をはじめとして、子ども自身がもっている権利を、うまく使えるようにお手伝いするところです。今まで、子どもたちを中心にたくさんの声を聞いてきました。子どものための権利擁護委員会の活動をもっと知ってもらうために「あまっこライツ通信」を発行することにしました。次回の発行も、みなさん楽しみにしておいてください。

子どものための権利擁護委員会ってどんなところ？

尼崎市子どもの育ち支援条例に基づいてつくられた子どもの人権を守るための委員会です。子どもからしっかり話を聞きます。また必要に応じ先生や大人から話を聞き、子どもと一緒に解決策を考えます。

委員紹介…尼崎の子どもたちの人権を守るために活動するのが、次の４人の委員です。

委員長　曾我　智史（そが　さとし）

私は子どもたちの味方です。
一緒に悩み、考え、動きます。

委員　古川　知子（ふるかわ　ともこ）

大切なお話を聴きます。
安心して話してくださいね。

副委員長　吉池　毅志（よしいけ　たかし）

家族先生友達に、言えない事でも
大丈夫。ひみつ話は伝えません。

専門委員　幾田　喜憲（いくた　よしのり）

子どもは宝！
いつでもどこでも話をしよう。

ひとりで悩まないでね。気持ちを聞かせてください。あなたの味方になります♪

あなたならどう言いますか？

見たいテレビを楽しみながら

おやつを食べようとしていたときに

友達から誘いの電話があった。

気が進まないのに

「そうね」と言って付き合う。

おどおどタイプ

「急に言われてもだめ！」

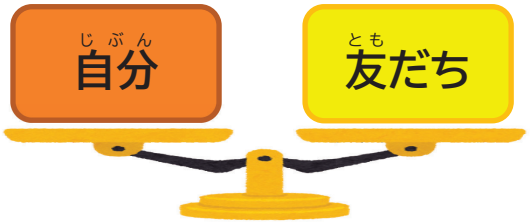
と、けんもほろろに断る。

いばり屋さんタイプ

いばり屋さんタイプの言い方でもなく、おどおどタイプの言い方でもない。

自分の気持ちも大切にし、誘ってくれた友だちも大切にする言い方がある。

これが<u>アサーション</u>という言い方です。



「見たいテレビがあるんだけれど、

今日がいいの？」

と自分の予定も伝えながら相手の意向を受け止める。

自分の考えを言うことは大切です。しかし自分を大切にし、友だちも大切にすることが大事だね。

<u>相談員紹介</u>…最初にお話を聞いて委員と連携して活動します。

内田相談員

声を聞かせてください。

佐々木相談員

いっしょに話そうよ♪

西村相談員

ひとりで悩まず、相談してね。

吉田相談員

相談待ってます。

【連絡先】

尼崎市子どものための権利擁護委員会

所在地：〒661-0974　尼崎市若王寺2-18-5

あまがさき・ひと咲きプラザ内アマブラリ2階

電話：0120-968-622

受付時間：月～土曜日(祝日を除く)10時～18時

【尼崎市疾病対策課からのお知らせ】

あなたのことを心配している人がいます

相談してみませんか

動画を見てね⇒

ひとりじゃないよ　勇気を持って一歩前へ

あなたの勇気を待っている人がいます